

町田市資源循環型施設整備事業

環境影響評価書案の住民説明会（全4回）でいただいたご質問・ご意見（概要）

1. 整備事業について

(1) 新たな施設等について

No.	質問・意見	回答
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>新施設になった場合のメリットは何か。また、今までにない技術等は導入されるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>例えば、排ガスの自主規制値は現在の規制値よりも厳しいものを設定するため、既存施設よりも環境への負荷が低減されます。また、新施設では、生ごみ等を処理するバイオガス化施設を設置して発電を行い、再生可能エネルギーを活用する計画となっています。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>清掃車両の走行台数が600台/日と説明があり、走行台数が多いように思うが、周辺への交通影響は問題ないのか。また、新施設にはそれだけの清掃車両を受け入れる駐車場が整備されるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>600台/日は、今ある清掃工場（以下、「既存工場」）における清掃車両の平均的な走行台数であり、予測では安全側として既存工場と同様としました。新施設ではビン・缶・ペットボトルは他の地域で資源化するため、既存工場には持ち込みません。従って、新施設における清掃車両の走行台数は600台/日よりも少なくなると予想しています。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>微生物を用いる好気性処理と嫌気性処理では、好気性処理の方が圧倒的に効率よく、維持管理もしやすい。嫌気性処理を採用した場合、油や薬品等を分離しないと施設の処理がうまくいかず、維持管理が大変だと思う。新施設の処理フローでは油や薬品等を分離する工程がないと思うが、どのような処理を行うのか。また、バイオガス化施設の運転がうまくいかなかった場合、生ごみを燃やす必要があるため、新施設の処理能力を小さくすべきでないと思うが、どのように考えているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市としても、導入を決める過程の中で、町田市の家庭ごみを使って機械選別を行ったり、ガスが発生するかどうか確認試験を行うなどの調査を実施しました。また、国内の先進事例や、焼却施設とバイオの併用施設の実績があるプラントメーカーにアンケートを行い、情報を収集しながら方向性を出しております。今後、事業者が決まってから、懸念事項については協議を行い、安全性の確保や危険性を回避する仕組みづくりについて検討してまいります。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>排ガスの自主規制値が国の基準と比較して、非常に厳しい値となっているが、規制値を満足できるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自主規制値は非常に厳しい値ですが、自主規制値を満足するような施設を導入して、運転を行います。また、自主規制値よりも厳しい安全管理目標値を設定し、目標値を遵守しながら運転管理を行います。</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>排ガスの自主規制値が非常に厳しいが、どのように設定したのか。また、確認はどうするのか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他市における事例を調査し、環境への負荷を低減することができる値として設定しました。安全管理目標値を設定して、超過しそうな変動があった場合は施設を停止し、安全確認を行います。また、地域住民の方と協定を締結し、自主目標値が超過しない仕組みを今後、つくります。</li> </ul>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>排ガス中の大気汚染物質の濃度は、市民が簡単に把握できるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しい施設には、排ガス中の大気汚染物質の濃度の表示盤を設置します。詳細については事業者が決定してから検討する予定です。</li> </ul>

No.	質 問・意 見	回 答
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存施設の処理能力が476トン、新施設の処理能力が258トンとなっており、処理能力が小さくなっているが問題ないのか。今後、ごみの発生量が増加する可能性もあると思うが、施設の増設等は考えていないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>476トン/日は施設の処理能力であり、現在の処理量は約300トン/日です。また、ごみの発生量を削減する施策を行っており、最大で40%の削減を目標としていることから、新施設の処理能力で処理が可能であると考えています。また、施設の増設等は考えておりません。</li> </ul>
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>焼却施設を縮小するのに際し、ごみの減量化をするために、どのようなPRをしていくのか。新施設稼動までに、ごみ減量削減目標を達成して、数値を公表してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業者に対しては、ごみの分別を徹底するように働きかけをします。また、市民に対しては町内会や学校において、減量推進員のみなさんと協力して活動しながら、ごみの資源化や分別の徹底に関する啓発活動を行ってまいります。</li> </ul>
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事中的ごみ処理はどうするのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新施設の稼動後に、既存工場を解体する計画です。そのため、新施設の稼動までは既存工場で行います。</li> </ul>
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事中的ごみ収集はどうなるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事中也通常どおりの収集となりますが、引き続きごみ減量にご協力をお願いします。</li> </ul>
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>新施設の供用開始後は、バイオガス化施設が設置されることにより、ごみの出し方が変更になるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新施設では、生ごみ等を取り出す「機械選別方式」を採用する計画となっています。そのため、これまでと同じ出し方です。なお、生ごみを分別して収集してはどうかという市民意見もこれまでにいただいております。</li> </ul>
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存施設と新施設の処理費用を比較した場合、1トン当たりの処理経費はどのくらい増えるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存施設は公設公営であり、新施設は公設民営であるため、両者を比較するのは難しいです。事業者と契約後、削減効果については公表していきたいと考えています。</li> </ul>
13	<ul style="list-style-type: none"> <li>オリンピック等で建設費が問題になっている。この事業の予算は大丈夫なのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>予算化しています。今後、工事業者と契約を行いますが、業者選定にあたっては、運営について、事業者から提案を求めることでより良い施設を造ってまいります。</li> </ul>
14	<ul style="list-style-type: none"> <li>今回のバイオガス化施設では、発生したガスでタービンを回して発電することになっている。例えば、液化してボンベ等に充填等の方法や金額について検討は行っていないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまで様々な検討を行っており、例えば発生したガスを都市ガスにする等の検討も行いました、しかし、ガスの純度を高める必要があり、コスト的にも厳しいです。また、ご質問にあった液化してボンベに充填する方法も考えられますが、本事業では、ガスエンジン発電を採用しています。</li> </ul>

No.	質 問・意 見	回 答
15	<p>・新施設の稼働年数はどの程度を想定しているのか。</p>	<p>・20 年間は運営していくうえで問題なく稼働します。その後については、人口やごみ量によっても影響を受けますが、延命化を図るため、基幹整備・改良等を行えば、運営可能と考えています。しかし、排ガスの基準が厳しくなれば、基準をクリアすることは難しくなるため、更新する必要があります。30 年以降も延命化措置を図っていくのであれば、40 年でも稼働できると考えてはいます。既存工場でも基幹整備・改良等を行いながら、運転しており、排ガスの基準値もクリアしています。</p>
16	<p>・新施設をまた同じ敷地内に建てることに賛同できない。次の新施設は忠生地区に建設しないという約束をしてほしい。</p>	<p>・これまで、何年間もかけて、忠生の地域の皆さんと議論してまいりました。</p> <p>市としましては、ごみとして処理する量の 40%削減を目指し、色々な地域に入って説明会を開催しています。最終的に、建設地を同じ敷地内に決めたのは苦渋の決断でしたが、市内全域 200 カ所以上から評価をした結果です。</p> <p>現段階では、次の新施設をどこに建設するかというお話はできません。</p>
17	<p>・廃プラスチックの中間処理施設を計画地以外の場所に設置する計画となっているが、処理等に問題はないのか。</p>	<p>・容器包装プラスチックの中間処理施設の検討に際して、市では、容器包装プラスチックの圧縮実験を実施し、その結果をホームページで公表しました。確認された有害物質を除去する方法として、例えば活性炭吸着等を採用するなど、他自治体の施設を参考に安全性について確認しながら、「ごみゼロ市民会議」の時から市民と一緒に検討してまいりました。市では容器包装プラスチックのみを収集し、適切に処理することから問題はないと考えています。</p>

(2) 工事について

No.	質 問	回 答
1	・山留を設置する場合、どのような工法を採用するのか。	・山留は圧入式等の騒音・振動ができるだけ発生しない工法を採用します。
2	・工事の手法については情報開示がされるのか。	・事業者が決定した後、工事の実施に関する説明会を開催し、周知を行います。
3	・工事の休工日は日曜日と記載しているが、祭日等も工事は実施するのか。	・雨天等により、作業が実施できない日もあるため、祭日まで休工日にしてしまうと工期に間に合わない可能性があります。そのため、現時点では日曜日のみを休工日としています。但し、お盆や長期休暇等は工事を実施しない場合もあるため、その際は掲示板等で周知を行います。
4	・いつからフットパスコースは利用できなくなるのか。	・平成29年7月から工事を開始し、新施設の供用開始は平成33年7月を予定しています。その期間中の約4年間は、フットパスコースを利用いただけません。詳細については、事前にお知らせします。
5	・煙突の解体工事に伴い有害大気汚染物質が飛散するのではないのか。	・解体工事前に煙突内部の清掃を行い、有害大気汚染物質を除去するため、飛散しないと考えています。なお、解体工事にあたっては、粉じん等の発生が想定されるため、防じんシート等の対策を行います。
6	・工事中の説明会や現場見学等は行うのか。	・説明会はこれまでも行っており、工事中についても説明会を行います。また、現場見学についても行う予定です。説明会や現場見学を行うことで、本事業についてご理解いただきたいと考えています。
7	・既存工場棟跡地は緑地になるのか。	・一部は緑地となる計画です。その他の土地利用は、地区連絡会や周辺住民の意見を聞きながら検討してまいります。
8	・函師小学校の通学路上に清掃車両の走行経路が設定されている。事前に小学校に対して説明等は行うのか。また、計画地南西側の交差点には信号がないので、信号をつけてほしい。	・函師小学校に対しては事前に説明を行う予定です。また、工事用車両の出入口等に交通誘導員を配置し、歩行者等の安全に十分配慮します。また、周辺住民の方には工事説明会を実施します。計画地南西側の交差点については、交差点改良を検討しており、これから警察と協議を行っていきます。警察に対しても住民から信号を設置してほしいという要望があった旨を伝えております。
9	・既存の工場棟解体工事に際して、土壌汚染調査を実施し、汚染が確認された場合の具体的な対策を教えてください。	・汚染物質により処理方法が異なるため、汚染が確認された物質ごとに適切に対策・処理を行います。

## 2. 環境影響評価書案について

### (1) 評価書案全般

No.	質問	回答
1	・予測は、どの時点でを行っているか。	・影響が最大となる時点の予測を行っています。 例えば、工事中の騒音は既存施設の解体工事の時点の予測を行っています。 新たな施設の稼働後については、施設が安定稼働している時点の予測を行っています。
2	・地震の影響が予測されていないが、工事中及び工事完了後の地震対策はどのような計画がされているか。	・「地震」は環境影響評価の項目に入っていないため、予測は行っていません。事業者が決定してから、具体的な地震対策を検討します。また、建築物については耐震構造を採用する計画です。

### (2) 大気汚染

No.	質問	回答
1	・バイオガス化施設の稼働に伴う大気汚染、悪臭等の影響はないのか。	・悪臭の主な発生源はごみピットですが、バイオガス化施設のごみピットは熱回収施設と同様の施設内に設置することから、特にバイオガス化施設による影響はないと考えています。また、バイオガス化施設の発電機から排気される排ガスについては、予測に考慮しています。
2	・排ガス中の大気汚染物質の濃度を測定する頻度はどの程度か。	・ばいじん、塩化水素、硫黄酸化物、窒素酸化物は連続測定を行っています。また、連続測定とは別に定期的(60日以内)に公定法で測定を行います。ダイオキシン類、水銀は定期測定を行います。
3	・大気汚染のその他の予測地点はどこか。	・最大着地濃度出現地点を含む範囲で予測を行っており、予測地点は現地調査を行った小山田小学校、函師日向公園、常盤公園、函師小学校、忠生中学校としました。煙突から排出する大気汚染物質の濃度は、自主規制値を予測条件として拡散計算を行いました。
4	・二酸化窒素と浮遊粒子状物質の最大着地濃度出現地点は計画地敷地境界南側約200m地点となっているが、その他の大気汚染物質の最大着地濃度出現地点は計画地敷地境界南側約650m地点である。なぜ大気汚染物質の種類によって最大着地濃度出現地点が異なるのか。	・二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、熱回収施設の煙突とバイオガス化施設のガスエンジン発電機の排気口から排出されます。また、その他の大気汚染物質は、熱回収施設の煙突のみから排出されます。そのため、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質はバイオガス化施設の排気口からの影響を受けて、その他の大気汚染物質と比較して最大着地濃度出現地点が近くなっています。
5	・熊の堂公園で子供とよく遊んでおり、煙突から煙が見える。出来れば大気汚染の調査をしてほしい。	・国の基準よりさらに厳しい自主規制値を設定しているため、問題ないと考えています。また、計画地周辺で実施した現地調査結果についても環境基準を満足しています。なお、煙突から出ている煙は水蒸気です。

(3) 悪臭

No.	質 問	回 答
1	・既存工場棟の解体に伴う悪臭、大気汚染物質の影響は予測を行っているのか。悪臭、大気汚染物質の影響が気になる。	・工場棟における悪臭の影響要因としては、ごみピットが考えられる。工場棟の解体は、ごみピットを清掃したあとに行うため、悪臭及び大気汚染物質の影響はほぼないと予想します。 既存工場棟の立地範囲における土壌汚染調査は、解体後に実施する計画です。
	・バイオガス化施設に関する悪臭の調査を行ったのか。類似施設の状況はどうか。	・バイオガス化施設における悪臭の発生場所は、焼却施設と同様にごみピットです。本事業と同様のバイオガス化施設が2年前に兵庫県朝来市で稼働開始しています。この施設の悪臭の調査結果は、規制基準を満足していると聞いています。本事業については、悪臭防止対策を反映して予測を行った結果、規制基準を満足すると予測しています。

(4) 騒音・振動

No.	質 問	回 答
2	・清掃車両の走行に伴う騒音の予測結果が、環境基準を超過している理由は。	・清掃車両以外に公共バス・スクールバスなどの影響を受けた可能性があります。工事中は、騒音・振動の表示盤を設置する計画であり、影響を低減する様に努力します。
3	・騒音の予測結果はシミュレーションの計算結果であり、実際の騒音の状況と異なると思う。工事中及び施設の稼働後にも、予測地点において騒音の現地調査を行うのか。	・工事中及び施設の稼働後に、現地調査を行う予定です。現地調査結果については事後調査報告を行う予定です。

(5) 生物生態系

No.	質 問	回 答
10	・新施設では緑化部分が減少し、新施設の稼働に伴う騒音等が発生することから、オオタカ等の猛禽類への影響が大きいと思う。	・猛禽類の調査は計画地敷地から周囲3kmで実施しました。計画地内では営巣及び餌取り等の行動は確認されておりません。
	・保全措置として、コナラやクヌギを移植して生態系への影響を低減するとあるが、元の生態系に戻すためには長い期間がかかる。	・今回の工事で喪失する緑地については、可能な限り復元していきたいと考えています。
	・生態系の評価は計画地内だけでなく、計画地周辺も含めて評価を行ったのか。	・生態系の評価は、計画地敷地から周囲約200mも含めて行いました。